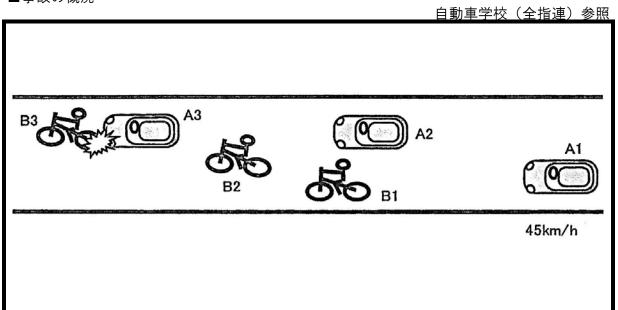
■事故の概況



事故類型:追突

発生日時:5月 午前8時30分頃 晴れ 当事者A:普通乗用車 20歳代 女性 当事者B:自転車 中学生 女性

■ 事故の概要

Aは、毎日通るセンターラインのない道路を時速約45kmで走行中、前方の道路左端を走行しているB自転車を発見し、そのままの速度で追い抜いてしまおうと道路右寄りに進路を変更しました。B車まで約10mに近づいたとき、B車が合図もなく急に右寄りに進路変更してきたので、急ブレーキを掛けましたが、間に合わず衝突しました。

Bは、毎日通行する道路の左端を走行していました。いつも車は来ないので、今回も後ろを確認せず道路横断のため進路を右寄りに変えたところ、A車に衝突しました。

■ 事故から学ぶ

自転車は合図をしないで進路変更をすることがあり、横を通過するときは、事前に自転車が自車に気づいていることを確認しておくことが大切です。

たとえば、しばらく追従して様子をみたり、十分な車間距離をとった上でクラクション を鳴らすなどです。そのうえで、自転車の動きを注視しながら進行すべきでした。

自転車側も例えよく知っている道路環境であっても、周囲の状況につねに注意するなど、 交通ルールやマナーを守って走行すべきでした。